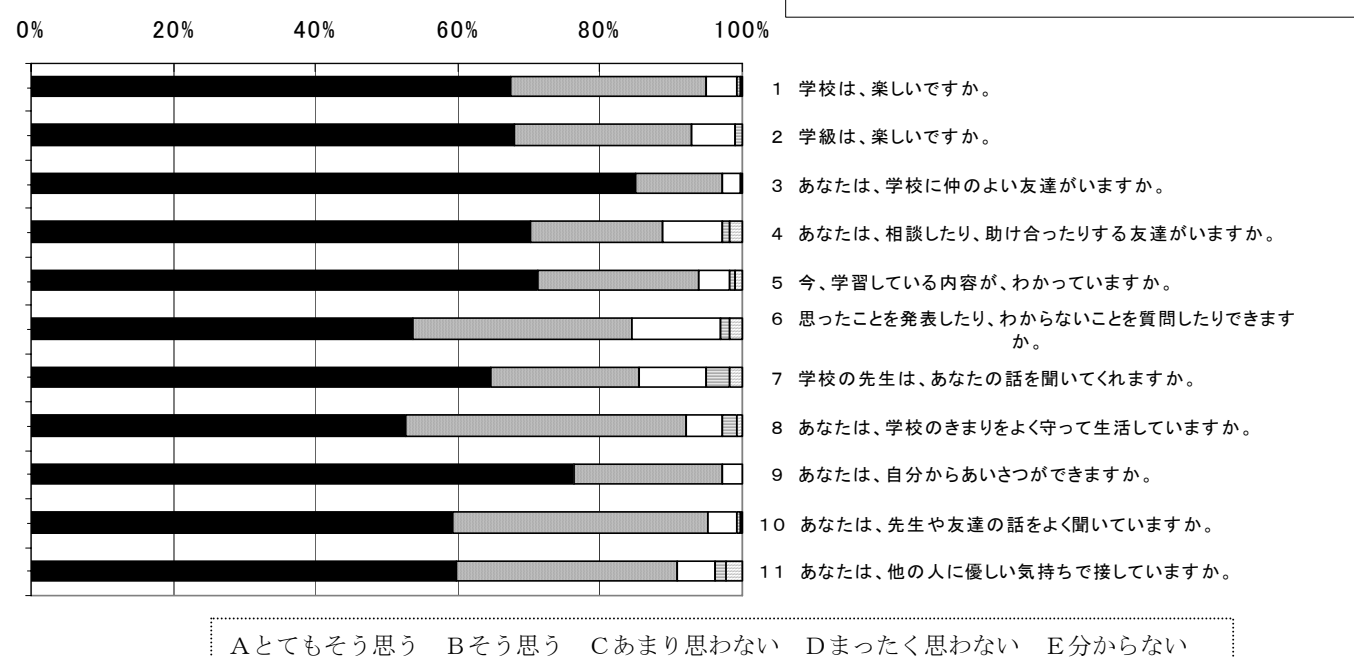
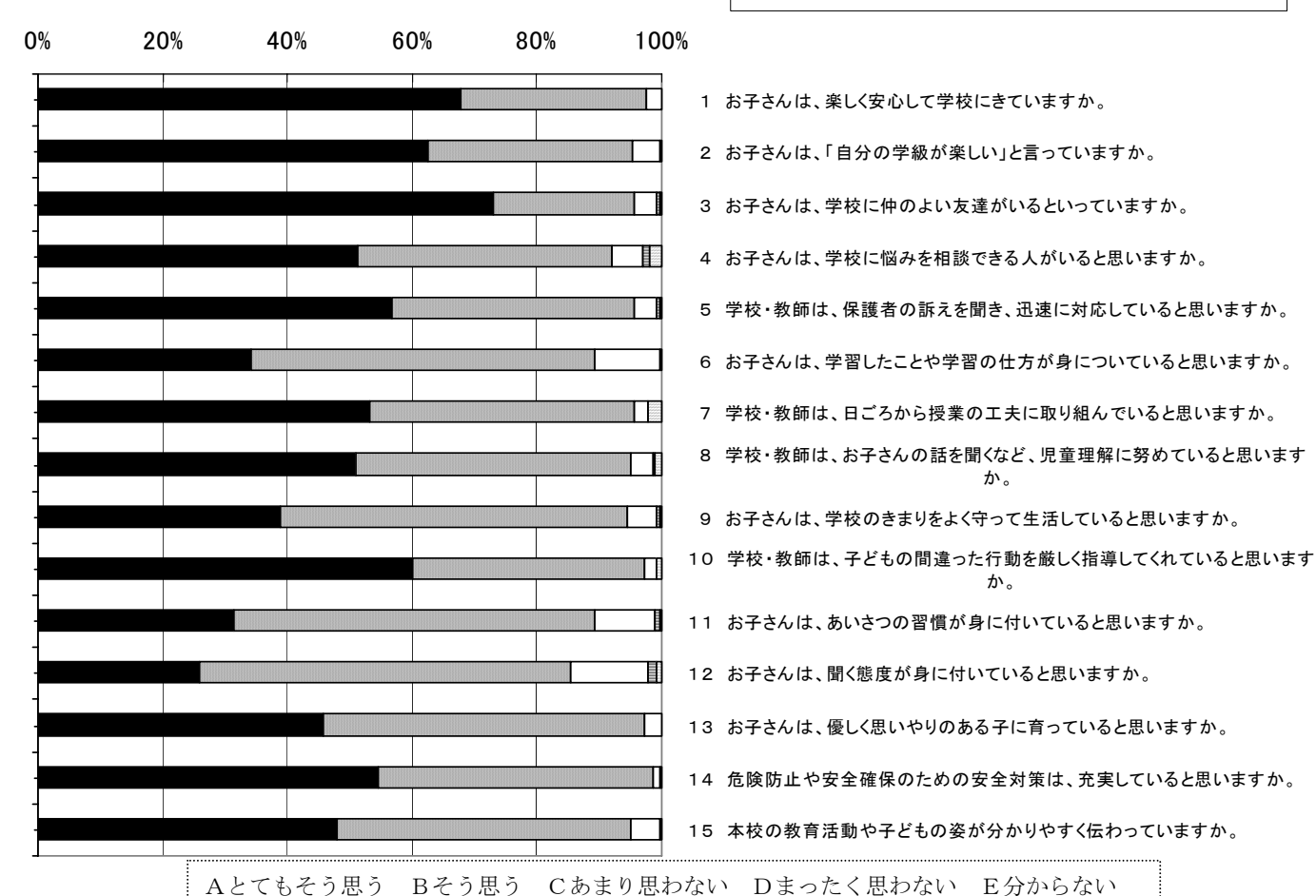


学校評価結果のお知らせ(児童・保護者)

学校関係者評価結果(児童)



学校関係者評価結果(保護者)



1学期末には、保護者の皆様には学校評価にご協力をいただきありがとうございました。児童と保護者の評価結果をお知らせします。この結果を真摯に受け止め、教職員一同、今後より一層努力したいと思います。

平成22年9月6日(月)

お茶の水小学校長 小林 勇司

【児童結果考察】 (7月上旬 質問紙によるアンケート調査)

全体 全ての質問に対して、「とてもそう思う」「そう思う」と85%以上の評価をし、特に、**問3「仲良しの友達」問9「挨拶」**など8項目に関しては、90%以上の高い評価をしました。おおむね、学校生活に満足している子どもの姿が伺えます。

課題

問6「思ったことを発表したり、分からないことを質問したりできますか」では、「あまり思わない」「まったく思わない」と答えている割合が14%と多く、それも、高学年になるにつれその割合が増えています。自信がない、恥ずかしいなど積極的に発言できない児童がいると考えられます。そこで、小グループでの話し合いを取り入れたり、自分の思いをみんなの前で発表する1分間スピーチ、短文紹介などを行ったり、発表したりする機会を意図的に作っていったりするなど、具体的な手立てを講じていきます。

問7「学校の先生は、あなたの話を聞いてくれますか」では、「あまり思わない」「まったく思わない」と答えている割合が12%です。発達段階から考えると、話の内容が高学年になるにつれて変化していくためか、その割合が増えている傾向があります。教師は、子どもたちが質問や相談しやすい環境・雰囲気づくりに心がけるようにします。また、児童が発しているものを感じ取り、積極的にはたらきかけ、距離感を縮めるようにしていきたいと思えます。互いに認め合い、進んで話せる学校環境づくりをめざします。

【保護者結果考察】 (7月上旬 質問紙によるアンケート調査)

全体 全ての質問に「とてもそう思う」「そう思う」と80%以上の評価を得ることができ、学校の取り組みについておおむね理解が得られていると考えます。特に、**問10「間違っただ行動に対しての厳しい指導」**、**問14「安全対策の充実」**については、高い評価を得ています。**問1、2、3「楽しく、安全で、仲良しの友達がいる」**という項目についても、高い評価を得ました。

課題

問11「挨拶の習慣化」については、「とてもそう思う」「そう思う」を合わせると85%以上の評価を得ていますが、「よくできている」という評価は30%強に留まっています。校内での、決まった場面(朝・帰り)や決まった相手(教職員)への挨拶は自発的にできています。しかし、一歩校外に出たときには、自発的な挨拶があまりできていません。保護者の方もその現実を把握していて、課題と考えられたようです。今後は、校内での挨拶のよさを認め伸ばしていくとともに、家庭との連携を図って根気よく指導していくようにしていきます。

問12「聞く態度の育成」については、「とてもそう思う」「そう思う」を合わせると80%強の評価を得ています。しかし、「よくできている」という評価は25%です。「学習の理解に時間がかかる」「最後まで聞かずに、先走って行動してしまう」「聞いてはいるが、注意深く聞くまでには至っていない」などの様子が児童に見られることから、このような評価になっていると考えられます。話す方も聞く方も「最後までしっかり聞く」という習慣が身につくよう心がけていくように、繰り返し指導していきます。また、家庭においても、学校と同じような気持ちで指導していただけるとありがたく思います。